



# 水谷公民館だより

編集 水谷公民館だより編集委員会  
発行 富士見市立水谷公民館 住所 富士見市水谷 1-13-6  
TEL 049(251)1129・FAX049(255)9886

## 国指定史跡 水子貝塚

## 水子貝塚公園

## 開園 30年

この水谷公民館だよりが配布されている水谷地域は、とても住みやすい場所です。

縄文時代には打越や水子貝塚の周辺に人々は集落を構えていました。

また、針ヶ谷小学校付近では南通遺跡という弥生時代の集落跡が発見されています。同じ時期には浦和所沢バイパスを越えた反対側の志木市に西原大塚遺跡という大集落もありました。柳瀬川をはさんで南通遺跡と西原大塚遺跡が向かい合っていたのは興味深いです。崖の下からは湧き水が

### 畑から貝がとれる？

水子貝塚は、公園になる前は畑でした。大應寺から水谷小学校に向かって畑の間を一本の道が通っていたそうです。

水子貝塚に散歩に来る80代の方は、その道を通って小学校に通っていたと話してくれました。農家の方は畑を耕すと貝が次々と出てくるのでニワトリのエサに混ぜていたそうです。

大正時代の水子貝塚の



公園整備前の畑の状態

地名は、水谷村水子字寺前「大應寺前の貝畑」と言っていたようです。

湧き、縄文海進によって海が近くまで来ていたので、魚や貝も捕りやすく縄文の森では木の実などの食料が豊富にあったのも住みやすい理由の一つだったのでしょうか。奈良時代・平安時代の遺跡も多く発見されていることから、人々が住みやすかった地域だったという事がうかがわれます。

公園ができる前、そして30年たった今、今後の公園の活用などについて水子貝塚公園職員の方々にお話を伺いました。

編集委員 佐々木真理子

### 水子貝塚の歴史

水子貝塚は1894年に阿部正功(まさこと)により発見されました。1938年の東京考古学会、1939年の東京大学の調査により16箇所貝塚がU字形に分布していることがわかりました。

その後「農地改良の為に天地返しをする」というので遺跡が壊されてしまう危険がでてきました。そこで1967年に調査をしたところ、50箇所貝塚が直径160メートルの範囲に環状に並び貝塚であることがわかりました。

その結果を踏まえ「縄文時代前期の貝塚が環状に分布する大規模な貝塚で、貝塚形成当時の集落規模・形態を推測できる学術的価値の高い遺跡」という理由で1969年に国史跡に指定されました。およそ3万6千平方メートルが将来の学術研究の為に保存されることになったのです。

史跡を有効に活用し、市民・国民の歴史学習の場とするために1977年、1984年と調査が実施されました。

そして1984年の調査では貝塚が67箇所確認できました。

その後、1990〜1992年の調査では埋葬された女性の人骨と犬の骨が発見され、1994年に水子貝塚公園が開園しました。

(富士見市史より)

### なぜ、今回調査しているの？

水子貝塚は、調査がすべて終わっているわけではありません。

公園の中には白いタイルが敷いてある場所が、たくさんあります。実は、そのタイルの下には「多分、貝塚があるだろうと思われる箇所」なのです。

堅穴住居が復元されているところは、すでに調査が終わっている箇所です。

開園してから30年が経過し、開園当初に植えた木々も大きく生長しました。木の根っこが遺跡を破壊していかないかなどの心配もでてきました。

そこで、新たな資料や発掘成果を求めて今回調査したのです。水子貝塚は国指定史跡です。文化庁の許可を得て調査をしました。



今回の発掘の様子



### 公園にある2つの建物

正面入口から左の建物は「事務所と資料館」です。富士見市内の遺跡から発掘された土器や石器などが展示してあり、年に数回、展示内容を替えています。資料館の隣は「展示館」です。水子貝塚で発掘された土器や石器・人骨・犬の骨が展示してあります。貝層も展示されています。

また、縄文時代の水子貝塚の様子を映像で見ることが出来ます。



開園当初



現在

### 水子貝塚は学べて遊べて楽しい

広い公園の中では、のんびりと散策をしたり、走ったりできますが、子ども達が楽しめる事業もたくさんあります。

月に2回、土曜日に「おもしろミュージアム」を開催しています。まが玉やミニチュア土器を作ったりと内容が毎回異なるので、「広報富士見」やホームページ、展示館の前にある掲示板を見てください。

土・日は「いつでもセブン」を実施しています。「じゅず玉のうで輪作り」や「貝輪作り」など、7種類の工作が楽しめます。また、夏の終わりに開催される「星空シアター」も楽しみですね。

水谷地域の水子貝塚公園、自分の庭のように楽しんでください。